

第10回 多摩川子ども環境シンポジウム

発表①

「多摩川が好きな理由」  
～多摩川でボートを楽しむ会～

川崎市 幸町小学校 5年 鈴木 康生



ぼくは、多摩川で月に2回くらいボートをこいでいます。ボートを始めたきっかけは、お母さんの職場でボートをこいでいる人にさそわれたことと、お父さんがボート経験者だったからです。



ぼくは、4人でこぐナックルフォアに乗っています。みんなと息を合わせてこぐことがとてもむずかしいですが、4人の息が合ったとき、ボートがスーッと進む感覚がうれしいです。



ぼくは、ボートをこぎながらいろいろな風景を見てきました。こうらをほしているカメ、魚を取ったカワウ、川岸で魚を待っているネコ、水面を飛びはねる魚、



さんばし近くを歩き回っているカニ。そんな色々な生き物達だけでなく、



両岸には緑があって季節も感じられ、ボートの上から見られる多摩川の景色がぼくは大好きです。



この間、台風が来た時に多摩川がはらんして、ボートで必要な道具が流されてしまいました。ぼく達は流されてしまった道具を集めたり、



泥だらけの道具を洗ったり、





こわれてしまったさんばしを直したりして、みんなで協力したおかげで無事、



多摩川レガッタをかいさいすることができました。



ぼく達がいつも練習している多摩川の良さを知ってもらうことができ良かったです。



ぼくは、自然豊かなこの多摩川と、一緒にカニとりやボートの練習をしてくれる



「多摩川でボートを楽しむ会」のメンバーが大好きなので、これからも多摩川でボートをつづけていきたいです。そのためにも多摩川に来たときには、ゴミを必ず自分で持ち帰り、川や川岸をよごさないようにすることで大好きな生き物達がいるこの多摩川を守っていきたいです。